

1. 件名：「日本原燃(株)再処理施設及びMOX施設の安全性向上評価に係る面談」

2. 日時：令和3年9月9日（木） 10時00分～12時30分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

古作企画調査官、大橋管理官補佐、藤原安全審査官、

大岡安全審査専門職、高梨安全審査専門職、清水係員

日本原燃株式会社 大久保 理事 安全・品質本部 安全推進部長 他8名

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社（以下「日本原燃」という。）から、本年8月2日の面談を踏まえ、再処理施設及びMOX施設における安全性向上評価の取組方針等の検討状況について、当日提出資料に基づき説明があった。

(2) 原子力規制庁から、今後、日本原燃が検討を進めるにあたって留意すべき事項として、主に以下の点を伝えた。

- ・安全性向上評価に関する体制に関しては、従来の定期安全レビューの体制や品質マネジメントシステムにおける評価改善プロセスの体制との関係を整理し、安全性向上評価におけるそれぞれの役割を明確にすること。
- ・リスク評価に関しては、事業変更許可時の事象選定で考慮した発生頻度や影響程度を考え方を踏まえ、リスクに対する認識の全体像を整理した上で、リスク評価に対する取組方針（安全性向上評価に取り入れていく時期等を含む。）を検討すること。その中で、日本原燃が再処理施設での導入を検討している確率論的リスク評価については、整備目的、外部事象も含めた長期的な整備方針、指標設定の考え方等を整理すること。
- ・安全裕度評価に関しては、ストレステストに係る評価の視点との対応関係を踏まえて評価対象や内容を整理すること。
- ・日本原燃で検討している追加措置の内容に関連した事項について、安全性向上評価ガイドで届出記載事項としている項目ごとに記載内容を整理すること。

- ・MOX施設の初回評価時期に関しては、規則での規定の趣旨を他施設との関係を含めて考慮の上改めて検討すること。

(3) 日本原燃から、本日の面談を踏まえて対応する旨の発言があった。

## 6. その他

### 提出資料

「安全性向上評価（再処理・MOX）の取組みについて」